

ことばとところを育てる
読書活動

茅野市の読書活動

小中学校の
朝読書のようすと
春の学校図書館から



2023.7

※著作権に配慮し、一部写真が鮮明でないものもあります。ご了承ください。

みんな一緒に朝読書～こころ穏やかな一日のはじまり

本に浸る環境づくり① ～ 子どもたちも先生もみんないっしょに本に浸る



豊平小

先生もやってるぞ・・・
そんな雰囲気子どもに伝わることが大切。
学校全体で、
みんなで同じことに取り組むことで、
心を一つにしていく。
まずはやってみて。

校長先生方から
こんなおはなしがありました。

中学校では
生徒のいない部屋でも
一人本に浸る先生の姿が
ありました。



永明中

小学校3年生の教室では
本を借りそびれたのか、本のない子に、
何も言わずそっと絵本をわたす担任の先生。

「いっしょに読もうよ」という心の声が聞こえてきそうでした。



東部中

金沢小



先生も 友だちも
みんな一緒に本に浸るひとときです。

北部中



本に浸る環境づくり② ～ 黒板や机の上…ちょっとしたことが集中に繋がります

「机の上は本だけにしよう。」
中学校で、担任の先生が声を掛けました。
ノートや筆箱が片付けられると、
しーん… 一人ひとりの本の世界へ…。

小学校では
図書袋の上に本を広げる姿を
よく見かけます。
どんなに急いでいても
机の上は本だけにしておきたいですね。



泉野小

小学校1年生の教室。黒板には
「きょうは さんかんびです。たのしみだね。」と
子どもたちへのメッセージがありました。

読み聞かせの時間が近づくと
そっと黒板を消して、
静かに椅子に座ってにっこりする先生。
その瞬間・・・
参観日にワクワクして、にぎやかだった1年生が、
スッと本の世界に入っていました。



永明小

朝の黒板は 先生と子どもたちをつなぐ大切な画面

真っ新な黒板に迎えられ、「今日は、どんなことがあるのかな」と
真っ新な気持ちで、一日を迎える子どもたち。

時には、チョークの粉一つなく、きれいに拭きあげられた黒板に先生からのメッセージを見つけ
その一言ひと言に、ドキドキしたり、ワクワクしたりする子どもたち。

そんな大切な黒板は
読書の時にも、大きな力を発揮します。
読み聞かせの時には、
絵本の背景となって、
絵を引き立ててくれます。

自分の本に読み浸って、
ふと顔を上げたときに
目にするのが真つ新な黒板なら
その画面の中に、自分のおはなしの世界を
描くことができるのです。



湖東小

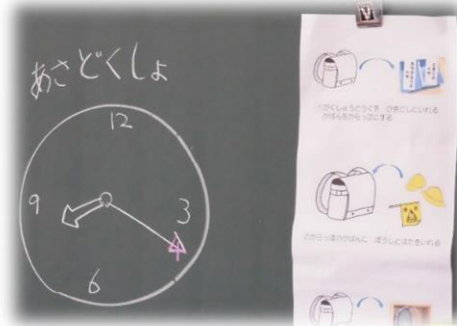
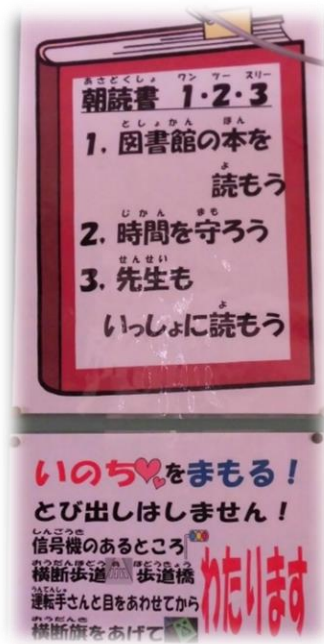


宮川小



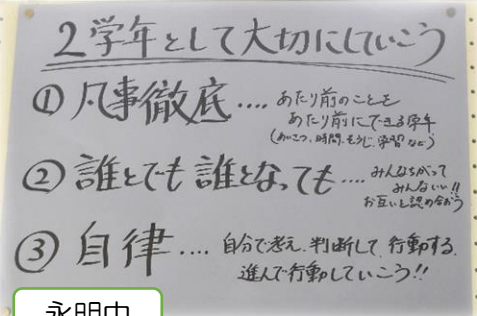
北山小

本に浸る環境づくり③ ～ 時間を守ること、余韻を大切にすること



永明小

そのたびに
口うるさく伝えるのではなく
子どもたちが自分で判断して
取り組むことができるように
各校で、
様々な工夫がされていました。



永明中

大型テレビでの読み聞かせを聴いていた2年生の子どもたち



永明小

5分で一冊読み終わった先生が
「あと5分あるね。
もう一冊読もう！」というと
「わーい！」と拍手！
『おだんごパン』
「うちにあるよ」「ネタばれ！」
といいつつ おはなしの世界へ。
5分を大切にする先生と
10分間のお話の世界を
しっかり楽しむ子どもたち。



玉川小

朝読書の10分が終わり、もうすぐ朝の会
「この本さあ・・・」
「ねえ、その本 次に貸してよ。」
担任の先生も
けて「早くしなさい」とは言わず
子どもたちの会話を見守っています。
余韻に浸りながら
今日の授業に向かうための
大切な時間であることが、伝わってきました。

子どもたちを本の世界へ誘う環境づくり



米沢小

温かい環境づくり①

～ 本といっしょに
温かいことばが
子どもたちを迎える学校

校長室で
玄関で
廊下で
校舎内のいろんなところで
温かいことばを添えられた本たちが
子どもたちを待っています。

いつでも どの子にも 同じように
朝読書の環境を整えている先生方。
時間になる前から準備をし、一人ひとり
本の世界に入っていき子どもたち。
いつも通りを続けられる子どもたち。
小さいころからの習慣が、
子どもたちの心を育み、支え、
自ら判断し行動する力を育てていく。
毎朝の10分の積み重ねが、
大切な10分であることが伝わってきます。



泉野小

温かい環境づくり② ～ セカンドブックの意味を大切に伝えています

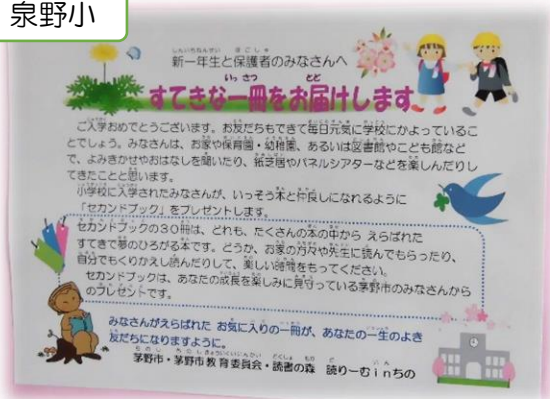


永明小

セカンドブックプレゼント

選び抜かれた30冊を
おめでとうの気持ちと一緒に
紹介しています。

泉野小



豊平小



米沢小



玉川小

温かい環境づくり③ ～ 子どもたちや先生方と一緒に作る読書への誘い



東部中

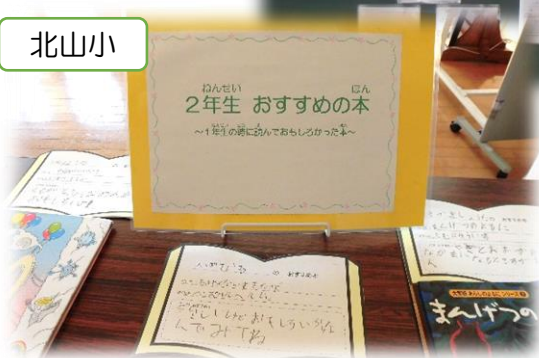
教科担任の先生方や
図書委員からのおすすめ本の紹介



宮川小



北山小



他の学年のお友だちから、おすすめ本の紹介

子どもたちが作った館内掲示



豊平小

温かい環境づくり④ ～ 子どもたちの興味関心を引き出そうとする図書館



金沢小

読書センター
 情報センター
 学習センター
 3つの機能を持つ図書館
 絵本や物語を読むだけではなく
 あれ? どうして?と
 知りたいことがあったときにも
 「そうだ! 図書館へ行こう!」



米沢小



長峰中

図書館にあるのは本だけではありません。
 今までの先輩たちが学んだ足跡も
 図書館にある大切な資料です。
 そんな宝物を眠らせず、
 子どもたちが手に取りやすいように、
 配架を工夫されている学校もあります。



北部中

一緒に朝読書を支えてくださる地域の方々より

1 生活に位置づいている朝読書

- ・入学して数日なのに、読み聞かせに聞き入る1年生。保小連携の上に立って育ってきた子たちであることがわかる。とてもありがたい。
- ・遊びから汗だくで戻ってきても、ぱっと読み始めることができる子どもたちが素晴らしい。どんなに遊んでいても、時間で教室に戻り読み始めるということは、習慣が身についている。
- ・始まる前から静かで、いつも安定している感じがする。(中学校にて)
- ・チャイムが鳴っても読み始めない子へ、隣の子が声掛けをしていた。いわれた子もすぐに反応できていた。子ども同士で雰囲気づくりをしようとしている中学生の姿に感動した。

2 先生方もともに取り組む朝読書

- ・1年生の先生の読み聞かせが、とても上手。学校司書に教えを請い、読み聞かせの練習をしたそうである。子どもを思う先生の思いがありがたい。
- ・集中するのが難しい子への先生の目配り、かかわりがありがたい。
- ・(読んでいる本が終わりそうなときに) 2冊目をあらかじめ用意して読む子たちがいた。自分の読む時間を大切にしたり、友だちが読んでいる空気を邪魔しないようにしたりという配慮が感じられる。
- ・チャイムが鳴ってすぐに朝の会ではなく、全員がきりの良いところまで読む姿を待つ先生のクラスでは、子どもたちも、お互いに余韻を大切に作る姿があった。
- ・4年生の教室では、先生が本に集中していて、子どもが安心して読み浸っていた。
- ・職員会で、校長が父親としての膝の上の読み聞かせ経験を伝えた中学校。学校図書館長自らが率先して取り組んでいる。
- ・今年、朝読書への取り組みを見直した学校では、先生方が本を楽しめることを大切にしている。

3 読書に親しんだり、読書の幅を広げたりする環境づくり

- ・学校全体の雰囲気がよい。子どもたちが本を楽しみにしている。校長先生と本の話をしている姿があり、「先生も好きなんだよ」と会話されていた。
- ・黒板をすっきりさせて読む環境を作っている先生の姿を共有したい。
- ・読み聞かせをしていた先生が、時間で終わらないときに「続きはまた明日ね。」とほほ笑んで本を閉じた。担任の先生ならではの繋がりが素晴らしい。
- ・「おすすめの本を口コミで広げよう」という目標は、読書の幅が広がることに繋がる。
- ・あまり子どもたちが選ばない本を、先生が読み聞かせしていた。きっかけ作りになっている。

4 これからの朝読書や読み聞かせに期待すること

- ・1、2年生は絵を楽しみたい。ストーリーを楽しめるのは3年生くらいから？ 読み聞かせの時の絵をめくるタイミングや速さを工夫して(焦らずに)、絵から受ける感動を大切にしたい。
- ・読み聞かせと紙芝居の違いを先生方に知ってほしい。(読み聞かせは演じすぎない)
- ・3年生の絵本から読み物への移行が、いい感じで行われているところと、そうでないところがある。読み物への移行については、学校司書会や司書教諭の会で検討したり、情報共有をしたりしながら進めていく。
- ・2年生は、本の選び方に差ができがち。本を選ぶことができるような支援をしていきたい。
- ・学校の本を読むことの意味を、子どもたちにも理解させたい。